

TANNOY

取扱説明書

KINGDOM

ROYAL



お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

9A10689600

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



強制

各スピーカーは120kgあり大変重いので、開梱や持ち運びは5人以上で行い、怪我をしないように注意する



強制

アンプなどに接続する際は、接続する機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
また、接続は指定のコードを使用する



強制

接続したアンプの電源を入れる前には、音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、または振動の多い場所に置かない
落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で、使用しない
スピーカーユニットが発熱し、火災や損傷の原因となることがあります。

使用上の注意

- エンクロージャーや前面グリル部に硬いものを当てないでください。傷がついたり、スピーカーユニットが損傷する恐れがあります。
- 本機は防磁設計ではありません。本機の上に磁気記録のカード類(キャッシュカードや定期券など)、テープ類(ビデオテープやカセットなど)、ディスク類(フロッピーディスクやMDなど)、および磁気の影響を受けやすい物を置かないでください。磁気により、データの消失や破損の原因となります。
- アンプからの入力とは適正な範囲でお聴きください。過大な入力は、スピーカーユニットを破損する恐れがあります。
また、許容入力以下であっても、クリッピングノイズなどの多い信号はスピーカーユニットに悪影響を与えます。アンプ側でも音が歪まないようにご注意ください。

設置上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所に設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- 加湿器のそばなど、湿度が高い場所に設置しないでください。また、油煙が当たる場所には設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動する場所などには設置しないでください。落下したり倒れたりして、けがや損傷の原因になります。また、脚の高さの不揃いなどで、本体が倒れたりしないように、十分ご注意ください。
- 本機は防磁設計ではありません。テレビやコンピューターのモニターから、1m以上離して設置してください。
- 周囲に反射や共振を起こす物が無いことが理想です。ガラス戸などがある場合、共振を起こすことがあります。共振がおきないようにしっかり固定するか、厚めのカーテンなどで吸音させてください。また、平行した壁面では定在波が起きやすいため、家具を配置して平行を崩したり、厚めのカーテンなどで吸音させてください。
- スピーカーシステムと聴取位置の間には、物を置かないでください。物があると直接音が遮られ、音質が変わる原因となります。

この取扱説明書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

設置

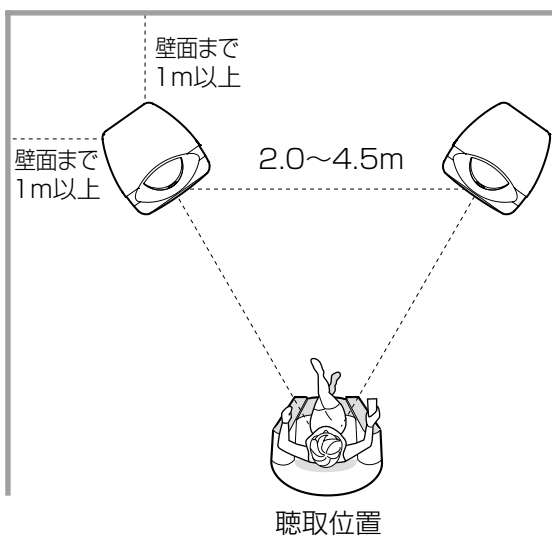
怪我やスピーカー破損の危険がありますので、設置の作業は2人以上で行ってください。

本機の底面にはキャスターがついています。床に障害物が無いか確認後、ゆっくりとスピーカーが倒れないように試聴場所まで移動してください。

設置位置

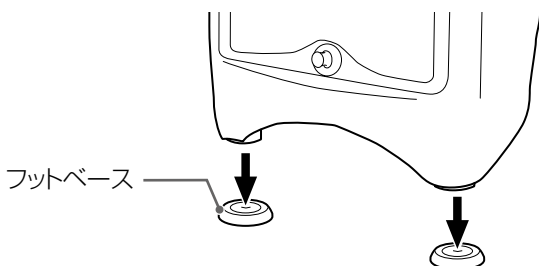
ステレオ再生の場合、左右のスピーカーは一般的に聴取位置を頂点として正三角形または二等辺三角形を形成する位置に設置します。

リスニングルームの広さや音響特性などによって異なりますが、後ろの壁面から1m以上離して設置し、低音の響き方を確認しながら位置を調節してください。



本機の脚は、ピンポイントの3点支持(前2か所、後ろ1か所)となっており、付属のフットベースを使用します。(フットベースを使用するとキャスターは接地面から離れます)

最終的な設置位置が決まったら、ピンポイントの脚をフットベースにのせて高さを調節してください。



接続

スピーカーケーブルについて

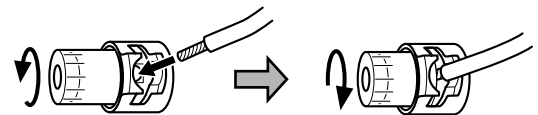
- 接続には、市販のスピーカーケーブルをお使いください。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

接続のしかた

- 接続の前に、必ずアンプの電源を切り、音量を絞ってください。

より線/スリーブの場合

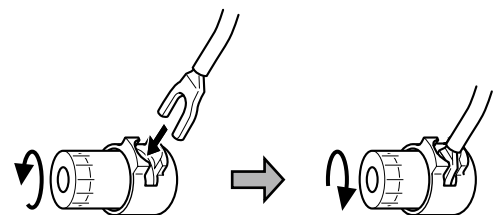
ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。



Yラグの場合

ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。

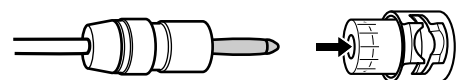
- Yラグ端子で接続する場合は、内径6~8mmのものをお使いください。



バナナプラグによる接続

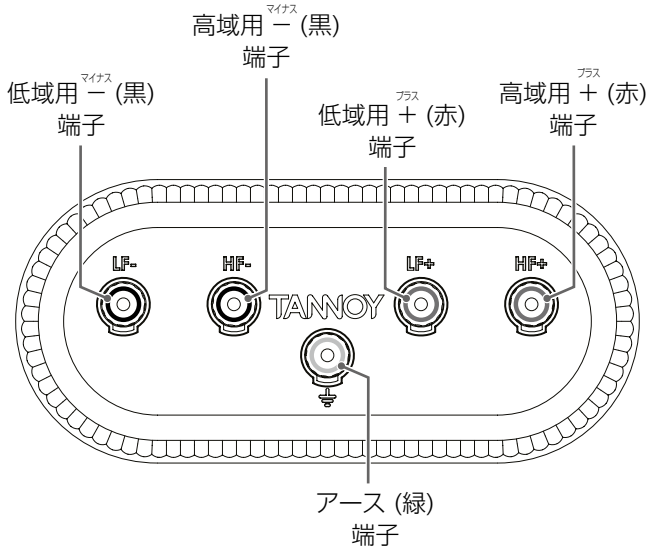
スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグを入カターミナルに差し込みます。

- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。



接 続 (続き)

入力ターミナル(背面)

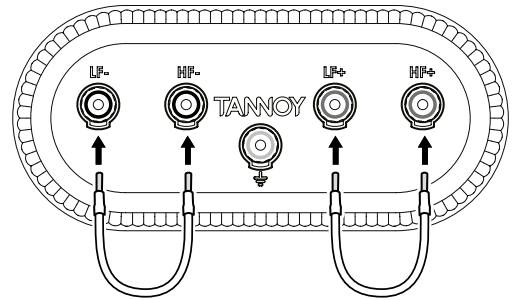


アース接続について

- アース接続は、緑(≡)端子と、アンプのアース端子またはシャシーに直接アース線で接続します。スピーカーケーブルにシールド線を使用している場合は、シールドを緑(≡)端子とアンプのアース端子またはシャシーに接続します。
- 本機をバイアンプ接続する場合には、アース接続は高域用アンプとのみ行ってください。低域用アンプとアース接続した場合、ハムノイズが発生することがあります。

シングルワイヤー接続

ノーマル接続(モノワイヤー接続)をするには、まず付属のショートワイヤーで、2つずつある^{プラス} + (赤)端子同士と^{マイナス} - (黒)端子同士を接続します。

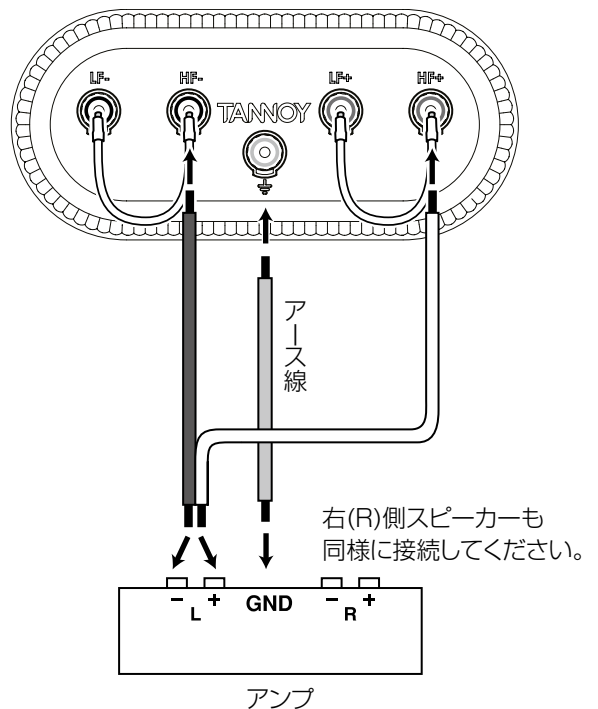


次に、以下のようにスピーカーケーブルでアンプと接続します。

- HF(高域用)^{プラス} + 端子、または LF(低域用)^{プラス} + 端子*
→ アンプの^{プラス} + 端子
- HF(高域用)^{プラス} + 端子、または LF(低域用)^{プラス} + 端子*
→ アンプの^{マイナス} - 端子

* HF(高域用)端子との接続をおすすめします。

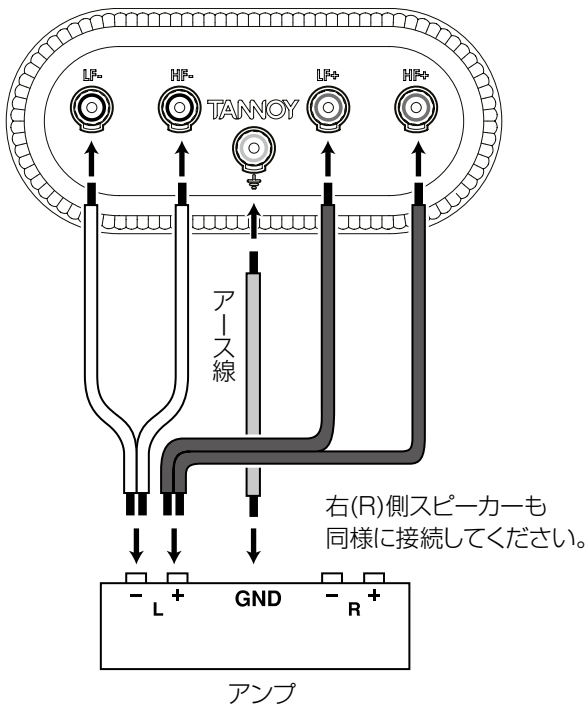
HF(高域用)^{プラス} + / HF(高域用)^{マイナス} - 端子をアンプに接続する場合



バイワイヤー接続

本機の性能をより引き出すために、バイワイヤー接続をおすすめします。

LF(低域用)、HF(高域用)それぞれ一对のケーブルを使用して、^{プラス} (+) 端子とアンプの ^{プラス} (+)、^{マイナス} (-) 端子とアンプの ^{マイナス} (-) を接続してください。

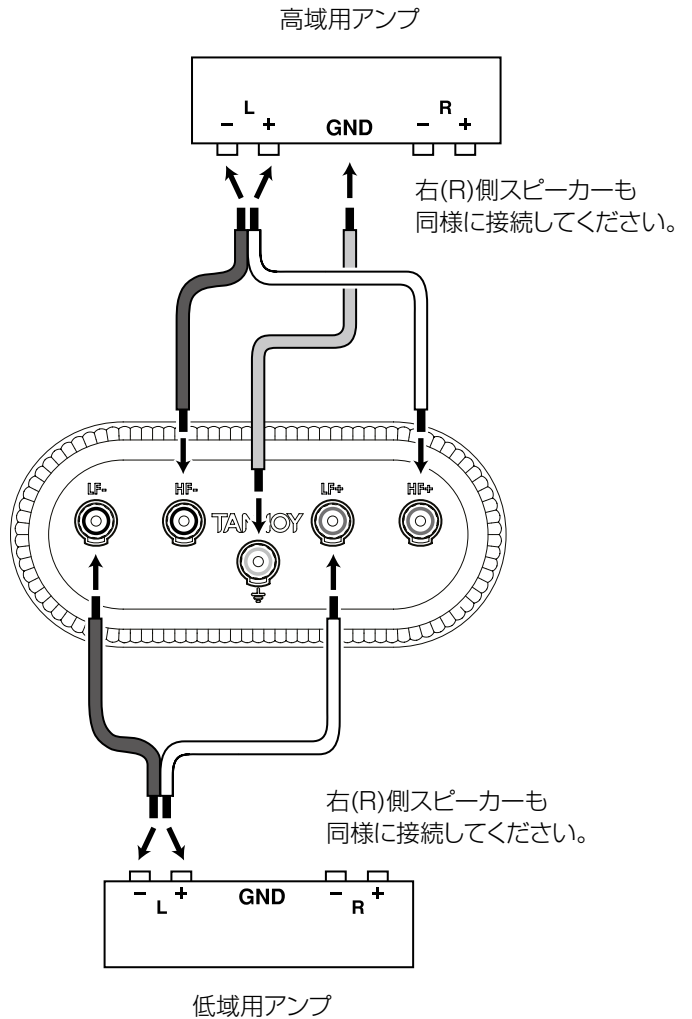


- 左右のスピーカーケーブルは、同じ種類・同じ長さのものを使用してください。
- スピーカーの端子同士を接続するショートワイヤーは、外してください。

バイアンプ接続

バイワイヤー接続をさらに発展させてバイアンプ接続することも可能です。

2台のステレオアンプを接続する場合



- 2台のステレオアンプを接続する場合は、上の図のように、1台を高域用に、もう1台を低域用としてお使いになることをおすすめします。
- スピーカーの端子同士を接続するショートワイヤーは、外してください。
- アース接続は高域用アンプとのみ行ってください。低域用アンプとアース接続した場合、ハムノイズが発生することがあります。

エージング(ならし運転)

使い始めに注意深くエージング(ならし運転)をすることによって、本来のスピーカーの性能が十分に発揮され、優れた音質でお楽しみいただけます。

エージングは通常の室温、適度な音量で延べ約20時間以上行ってください。それより長時間行くと、さらによい結果が得られます。

位相チェック

左右のスピーカーの極性(^{プラス}・^{マイナス})が一致していないと、位相が合わないために、正しいステレオ再生音が得られません。

位相チェックは、低音がよく入っているプログラムソースを左右のスピーカーからモノラルで出して聴き比べます。

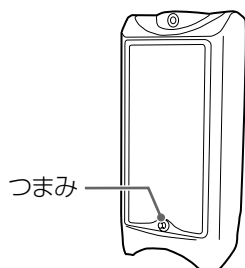
位相が合っている場合は、低音が豊かによく出て、音像が左右のスピーカーの中央に定位します。位相が合っていない場合は、低音が出ず音像がぼやけて定位しません。

合っていない場合は、スピーカーとアンプ間の接続の極性(+・-)を確認してください。一方だけ、極性を逆に接続しなおすと正しい位相になります。

前面グリルの着脱

本機の前面グリルはマグネットでキャビネットに固定されており、取り外すことができます。

下部のつまみを引いて、爪などで傷が付かないよう慎重に取り外してください。

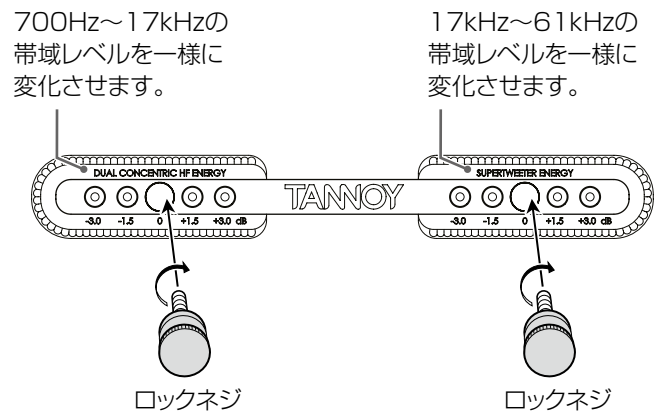


- グリルのつまみは回さないでください。破損の原因となります。
- グリルを取り付けるときは、先にグリルの上部をはめてから、下部をゆっくりと押し込んでください。

高音域レベル調整

リスニングルームの音響特性の補正、またはご自分の好みの音質に合わせるため、高音域のレベル調整することができます。

レベル調整は、前面のグリルを取り外して、「DUAL CONCENTRIC HF ENERGY」と「SUPERTWEETER ENERGY」の2つのロックネジを差し換え、聴き比べながら行います。



ロックネジを「0」に差したときに、周波数特性がフラットになるように設定されています。ロックネジをそれぞれのポジションに差し替えることにより、+3.0dBから-3.0dBまで1.5dBステップでデュアルコンセントリックのツイーターとスーパーツイーターのレベルを増減することができます。

- レベルを調節するときは、アンプのトーンコントロールなどの設定はフラットな状態にして調整してください。
- ロックネジは確実に締めてください。ゆるんでいると、ノイズなどの原因となります。

主な仕様

外形寸法(W x H x D)	585 x 1275 x 600mm
エンクロージャー容積	160ℓ
エンクロージャー形式	バスレフ(サブウーハー) +密閉型(デュアルコンセントリック、スーパーツイーター)
質量	約120kg
推奨アンプ出力	20W/ch ~ 600W/ch
連続許容入力(RMS)	300W
最大許容入力(瞬間)	1200W
最大SPL	120dB(300W/1m) / 126dB(1200W/1m)
高調波歪	1%以下 (300W/50Hz ~ 20kHz)
能率	96dB(2.83V/1m)
インピーダンス	8Ω
放射角	90° コニカル
周波数特性	24Hz ~ 61kHz(-6dB)
クロスオーバー周波数	120Hz (サブウーハー~デュアル・コンセントリック・ミッドレンジ) 700Hz (デュアル・コンセントリック・ミッドレンジ~コンプレッション・ツイーター) 17kHz (デュアル・コンセントリック・ツイーター~スーパー・ツイーター)
クロスオーバー調整	700Hz ~ 17kHz (Dual Concentric energy): ±3.0dB / 5ステップ(1.5dBステップ) 17kHz ~ 61kHz (Super Tweeter energy): ±3.0dB / 5ステップ(1.5dBステップ)
クロスオーバータイプ	バイワイヤー対応、銀入りハンダ採用による低損失 ハードワイヤー・パッシブタイプ 高純度6N(99.9999%) PCOCC配線、 4N(99.997%)銀単線スーパーツイーター配線 DCT(ディーブクライオジェニック処理)、フリーフ ローティング・アイソレーションシステム採用 デュアルコンセントリック各ドライバー、サブウーハー: 2次オーダー (-12dB/oct.) スーパーツイーター: 1次オーダー (-6dB/oct.) ハイパス

サブウーハー	380mm(15インチ)マルチ・ファイバー・ペーパーコーン 75mm(3インチ)ボイスコイル
デュアル・コンセントリック・ドライバー	300mm(12インチ)デュアル・コンセントリック・ドライバー ミッドレンジドライバー: 52mm(2インチ)ボイスコイル、マルチ・ファイバー・ペーパーコーン ツイーター: 75mm(3インチ)アルミニウム合金ダイヤフラム (DCT ディープクライオジェニック処理)
スーパーツイーター	25mm(1インチ) 64μ厚 マグネシウム合金ダイヤ フラム(セラミックコーティング処理) ネオジウムマグネット、プラズマ接着ボイスコイル
キャビネット構造	バーチ(樺)材積層合板 + HDF / 高剛性ブレーシング(添木)内部加工

※仕様およびデータは英国TANNOY社の発表によるものです。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

お手入れ

- エンクロージャーは、付属のマイクロファイバークロスで拭いてください。ピアノ仕上げの部分は必要に応じてシリコンを含まない家具用ポリッシュなどで拭いてください。
- 一般の床用ワックスや化学ぞうきん、またはベンジンやシンナー系の液体などでは、絶対に拭かないでください。
- グリルに付いたほこりは、洋服用のブラシなどで取ってください。
- 金属部は柔らかい布で拭いてください。金属磨きなどは使用しないでください。表面を傷つける恐れがあります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。
当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証とアフターサービス

■ 保証書

この製品には保証書が添付されています。
保証書は、販売店が所定事項を記入してお渡しいたします。「販売店名・お買い上げ日」など、記載事項をお確かめのうえ、お受け取りください。
また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年です。

■ 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談、およびご不明な点は、お買い上げの販売店、または下記ティアック修理センターにお問い合わせください。

■ 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。
詳細につきましては、保証書をご覧ください。

■ 保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

型名: タンノイスピーカー キングダム KINGDOM ロイヤル ROYAL
シリアルNo. お買い上げ日
販売店名 お客様のご連絡先
故障の状況 (できるだけ詳しく)

■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp/>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話: 042-356-9235 / FAX: 042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話: 04-2901-1033 / FAX: 04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。